



作者の言葉
我が百合丘ロータリー
のシンボルマーク百合の花は
地名にも有る様に、花は
この多岐上流のありさま
に思ふ、大器出でこそ
知る化の流により、花
され少くも、花は、
そよよと、初雪も、
ちると、散る、
小の、花に、その、香、
清く、風、に、ま、い、
せ、せ、と、ま、い、あ、る、
昭和五十四年 春 吉野日
大友五

Weekly Report

2016～2017年度

平成28年12月6日(火) 第1839回例会

◆会長：北島 克己 ◆幹事：親松 裕明 ◆会報：中村 和広

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1839回例会記録 平成28年12月6日(火) 22/48回

<点鐘> 北島会長
<ソング> 君が代 奉仕の理想
<お客様紹介>
国際ロータリー第2590地区ガバナー 高良明様
地区副幹事 佐保田實様
地区副幹事 齊藤正彦様
米山奨学生 傅嘉巍君
北島会長より傅嘉巍君に奨学金が渡されました。

<会長報告> 北島会長
1. 2017-18派遣学生交流スキーキャンプのお知らせ
1/7(土)～8(日) 1泊2日 パルコール孺恋スキー場並びに東海大学孺恋 高原研修センター
2. 第33回RYLA見学の案内
2/18(土)～2/19(日) 横浜市野島青少年研修センター
3. 第1回「日本RYLAセミナー」開催のお知らせと受講生推薦のお願い
開催期間：3/24(金)～26(日)
開催場所：全トヨタ労連研修センター
募集期間：11/7(月)～1/20(金)
4. 地区国際奉仕委員会のホームページに掲載する各クラブで実施中の国際奉仕プロジェクト情報提供 お願い
5. 一般財団法人比国育英会パギオ基金より事業報告書の送付と基金への寄付のお願い
6. 麻生区消防関係6団体賀詞交歓会について案内
1/8(日) 12:30～ JAセレサ川崎 柿生支店3F

<幹事報告> 親松幹事
*近隣クラブ例会変更
川崎高津南RC、川崎鷺沼RC、神奈川RC、川崎大師RC

<ニコニコ委員会> 阿久澤委員長
国際ロータリー第2590地区ガバナー高良明様→「本年度ガバナーを拝命しました高良です。どうぞよろしくお祈り致します。川崎百合丘RCの益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り致します」。地区副幹事 佐保田實様→「高良ガバナー公式訪問に同行しました。宜しくお願い致します」。地区副幹事 齊藤正彦様→「地区大会、由紀さおりチャリティーディナーショー開催にあたり、川崎百合丘RCの皆様方には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます」。当クラブより、鈴木文夫会員→「年に1度のガバナー公式訪問です。北島年度成功への踏台としてください」。中村会員→「小田急電鉄発行の広報誌『川崎ぴあ』の取材を受けました。お暇な時にご笑覧ください」。大矢会員→「来年のカレンダーお使いください」。以下、感謝をこめてニコニコへ。北島会長、親松幹事、安藤美恵子会員、安藤亨会員、安藤志子会員、福家会員、島山会員、井上久会員、井上勇会員、鴨志田会員、金子会員、勝田会員、小林会員、小島会員、小塚会員、中島健児会員、中島眞一会員、野島会員、尾崎会員、関山会員、白井会員、鈴木清会員、玉井会員、山本会員、渡邊会員、結城会員、阿久澤会員。

- 第1841回 12月20日 年末クリスマス家族会
- 第1842回 1月10日 新年移動例会
- 第1843回 1月17日 クラブ協議会④

<出席委員会>

結城委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1839回	42	34	8		80.95%
第1838回	42	30	12	3	78.57%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	33件	54,000円	587件	657,080円
財団	0件	0円	15件	205,000円
ベネファクター	1件	106,000円	1件	106,000円
米山	0件	0円	21件	280,000円

<ロータリ財団委員会>

安藤亨委員長

北島会長→「ガバナー公式訪問を記念して。あと7ヶ月頑張ります」。

本日のプログラム

第2590地区ガバナー補佐鈴木文夫様よりガバナーのご紹介

川崎西ロータリークラブ4人目のガバナーです。職業は公認会計士で事業家というより学者に近い感じがします。ガバナー月信2ページ、3ページ目をお読みください。ガバナーの熱い思いが書かれています。私が知る限りロータリークラブへの情熱は一番強いのではないかと考えております。

<ガバナー公式訪問卓話>

第2590地区ガバナー 高良明様

ご紹介頂きました本年度ガバナーを拝命いたしました川崎西RCの高良と申します。どうぞよろしくお願いいたします。先日の「地区大会」では、大勢の皆さんに御協力とご参加を頂き、誠にありがとうございました。お陰様で、盛大に執り行うことができました。心より感謝申し上げます。



北島会長の会長方針に「人の和で楽しもうロータリー」というメッセージがございました。川崎百合丘RCにおかれましては人間関係がよく和やかに過ごされているとつくづく感じます。聖徳太子の17条の憲法「和を以て貴しとなし忤うこと無きを宗とせよ」と第1条にありますので、本日はどうぞ忤うことなく最後まで聞いて頂けますようよろしくお願いいたします。

1. 人生の幸福とは(人生の意義について)。

(1)生きる意味

人間はこの世に生まれた以上、必ずやいつか死ぬものですが、そのためにも今をきちんと生きることは大切だと思います。

「生を明らめ死を明むるは、仏家一大事の因縁なり」(「修証義」道元禅師1200-53)

生きることを明らかにしてやがて来る死というものをしっかりとみつめて明らかにする。これこそ仏道に入ったものの一大事の課題ですよという意味です。我々仏道に入っていない人間においてもやはり生きる意味はしっかりと考えることが大切だと思います。

ナチスドイツによる強制収容所での800万人ともいわれる組織的集団虐殺(アウシュビッツ収容所だけで300万人)の体験記録をまとめた、精神科医のユダヤ人ヴィクトール・E・フランクルの「夜と霧」を読むと、内面的拠り所、希望とか生きる意味、勇気、愛、奉仕を失った人間は、皆崩壊していった、と記されています。絶望でもうだめだと思った瞬間、死への道を歩んでいるということです。内面的拠り所とは何か。生きる意味、希望、生きる勇気、仲間への愛、奉仕。こういったものです。平和の中においても生きる意味をしっかりと理解することが必要ではないかと思えます。

(2)幸福の四角形

人間は古今東西、生ある限り幸福を求めてやまない動物ですが、それでは一体何が幸福と言えるでしょうか？病気の人のためには「健康」であることが、愛情から見放されている人にとっては「愛情」に充ちることが、財の乏しい人にとっては「財産」があることが、夢を求めている人にとっては「自己実現」を叶えることが幸せであると言えるでしょう。人間は欠乏しているものを求める欲求本能がある動物だからです。アメリカのある心理学者が、「幸福」とは何か？について大勢の方を対象にアンケート調査をしたところ、次の4つに分類できたそうです。

- ①健康 ②愛情 ③富 ④自己実現(自己表現)

この4つのカテゴリーがバランスよく伸びている状態を「幸福」と定義しました。また古代ギリシャの大哲学者アリストテレスは「善」をもって「万物の希求するところ」として、「善く生きる」ことが幸福にほかならないとしました。アリストテレスは、「幸福」とは人間固有の卓越した能力や徳をもって善く働いている(奉仕)状態と考えたようです。

決議23-24においては、「奉仕の理論が職業および人生における成功と幸福の真の基礎」とであると謳っています。このように人や組織によって幸福の定義は異なりますが、大いに人間関係や職業(仕事)に関係があるものと思えます。誰も1人では生きられない

ので、人間関係は大切にせねばなりません。特に家族、職場、ロータリーの仲間。お互いに支え合っていますので大切にしていけることが大切です。心理学者であるアドラーは「全ての問題は人間関係である」と言っています。

2. 職業の意味と職業奉仕

それでは職業や仕事とか言われるものは、どのような意味や価値があるのでしょうか？

解雇された人の幸福度は、失業給付を高額にしても回復しないとわれ、英国の経済誌「エコノミック・ジャーナル」の13万人を対象とした追跡調査では、「人生の出来事のうち、幸せに最も影響するのは長期にわたる失業状態であり、1年以上の失業が続いた人の幸福度は元に戻らない」と報告されています。それほど人間にとって仕事は重要な人生問題であり、善く生きるか否か大きな課題です。

(1) 職業(仕事)の意味と価値

- ① 生計維持のため(資命・命をたすける)
- ② 自己実現のため(志命・自己の望みを全うするため)
- ③ 組織維持のため(支命・組織の維持存続のため)
- ④ 社会奉仕(貢献)のため(使命・天職として)

このように「職業」(仕事)そのものに、自己への奉仕、他人への奉仕、社会への奉仕という奉仕の意味が内包しています。

(2) ロータリーの目的と職業奉仕

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」にあるわけで、これをロータリーの目的としてロータリー運動が展開されてきたわけです。職業奉仕がロータリーの金看板と言われる所以です。

1989年の規定審議会における「職業宣言」において、「職業は奉仕の1つの機会」として規定されており、職業奉仕とは、職業を通じて自己をも含めて、社会や他人のためになることと定義できそうです。「職業奉仕」は言語では「Vocational Service」ですが、これは先に述べた天職、使命に基づいた職業の意味で、職責を尽くし、社会のためになる事業を営むことが大切であることを物語っています。これを実践した歴史上の人物を3人挙げたいと思います。

渋沢栄一(1840-1931)は、幕末から明治に生きた方で、株式会社500社、非営利企業600社ほどを立ち上げた日本近代資本主義の創始者です。「ビジネスは倫理に基づく限り、決して卑しいものではない」として、「道徳経済合一説」「論語算盤説」を説きました。様々な農地改革をした二宮金次郎(1787-1856)は、「道徳

なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」と言っています。松下幸之助(1894-1989)は、尋常小学校を中退し、満9歳で大阪船場に丁稚奉公をして、商いの基本を学んで、ナショナルブランド、世界の総合電機メーカー松下電器産業(現在はパナソニック)を創り上げた経営の神様と言われた方です。

「営利と社会正義の調和に念慮し国家産業の発達を図り社会生活の改善と向上を期す」と綱領に謳い、「商売は世の為、人の為の奉仕にして、利益はその当然の報酬なり」と強調しております。アーサー・フレデリック・シェルドンの「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というロータリーの実践倫理の哲学と似ている言葉です。いずれも職業奉仕を全うされた方だと思います。

3. 地区方針

さて、今年度RI会長ジョン・ジャームさんは、「人類に奉仕するロータリー」(Rotary Serving Humanity)とRIテーマを掲げました。このテーマは、ロータリーそのものの普遍的なテーマといっただいでしょう。地区大会におきましてもお話ししたように、Humanityという言葉には、①人類②人間性③思いやり、といった意味がありますので、「思いやりをもって人に接し、自分自身の人間性(高潔性)を高め、人類に奉仕する」こととなり、まさにロータリー運動そのものの本質といえます。私は、これを受けて地区方針を「クラブの魅力創りと活性化」といたしました。魅力創りには、

- ① ロータリーの目的や意義、使命を理解すること(Mission)。目的や意義、使命を理解せずして、善く生きることはできません。人生の意味を理解せず充実した幸福な人生を送ることはできないのです。
- ② 会員、人を尊重し大切にすること(Member、組織は人なり)。心理学者のアドラーは、全ての悩みは「人間関係」であると言っているように、人間は1人では生きていくことはできず、対人関係を抜きにしては人生を語ることはできないのです。
- ③ クラブ運営をしっかりと適切に行うこと(Management)。人生や組織をより良く効果的に運営することがビジョンや目標達成への必要なことです。組織の魅力創りには、少なくともこの3つのMが必要です。しかしながら、皆さんご承知の通り、この4月の規定審議会において、ロータリーの方針の見直しが行われ、クラブ運営に大幅な変更、いかなれば「柔軟性」を認める決定が下されました。入会金、例会運営、出席要件、会員種類等、大変重要な変更がなされました。クラブ細則を変更して独自のクラブ運営ができるという、大変自由な柔軟性のある規定に変更されたわけです。したがって不易と流行、統一性と独自性や多様性をどのようにバランスをとるか、クラブの真価が問われることとなりました。ど

うか十分お考えいただき、見識ある適切なお判断をお願いしたいと思います。

■具体的な地区方針に基づく戦略といたしまして、まず本年度は、ロータリー財団の父と呼ばれる6人目のRI会長、アーチ・クランプが1917年アトランタ国際大会で「ロータリーの基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何かよいことをしよう」と呼びかけて100年となります。この記念すべき年度におきまして、地区ではR財団100周年記念委員会を設け、岡本PGに委員長をお願いいたしました。過日の地区大会をはじめ、様々なイベントにおいて、R財団100周年を祝ってまいりますので、ご協力のほどお願いいたします。

①今年度のIMを地区全体統合して、職業奉仕を中心とした「経営大講演会」を来年4月22日(土)神奈川県民ホールで実施いたします。委員長に箕田直前ガバナーになって頂き、横浜商工会議所及び川崎商工会議所のご支援も頂くことになっております。企業が永続する条件など職業奉仕、経営のあり方を中心に講演やシンポジウムを開催する予定でございます。ロータリアンはもとより一般事業者の方も呼びして、ロータリーのことを少しでも分かって頂き、ロータリー財団100周年を記念し、また広報・公共イメージ向上につなげたく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

②また地区社会奉仕委員会、広報・公共イメージ向上委員会が中心となり、身障者にも参加頂いて、来年の2月頃に「チャリティマラソン大会」をロータリー財団100周年記念の一環として、大野PGの委員長のもとに実施する予定です。

③また地区内クラブの活性化の一助として、「卓話バンク」を設けました。登録者は現在35名ほどですが、川崎百合丘RCにも大勢卓話者としてご登録頂きますようご協力のほどお願いいたします。

④またクラブ会長のご協力を頂いて、「クラブの活動状況調査」を作成いたしました。会長中心に将来のビジョンを設定され、戦略計画を立てるべく、ご活用頂きたくお願いいたします。

⑤地区は会員減少が著しく、会員増強は喫緊の課題です。会員増強の目的は、①多様性のある友人をつくる、②「奉仕の理念が人間の幸福と世界の平和につながる」ことを知ってもらう、③きめ細かい価値ある奉仕活動を行う、④クラブの存続にあります。前年度は2つのクラブが消滅してしまいました。大変残念です。どうか会員増強の趣旨・目的をよくご理解いただき、北島会長の下、皆さんがロータリーの伝道師になって頂き、「クラブの魅力創りと活性化」を果たすべく、会員増強にご尽力頂きたくお願いいたします。

■地区大会にて申し上げましたように、是非新型4つのテストを試みてください。

一、ロータリーの目的や使命をよく理解しているかどうか

一、真の親睦を図り、良好な人間関係を築いているかどうか

一、例会が充実し、自己修練の場となっているかどうか

一、職業奉仕をはじめ、価値ある奉仕活動がなされているかどうか

人生の幸福のために、社会、世界の平和のために是非確認してください。

最後になりますが、川崎百合丘RCの益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、卓話を閉じたいと思います。ありがとうございました。

